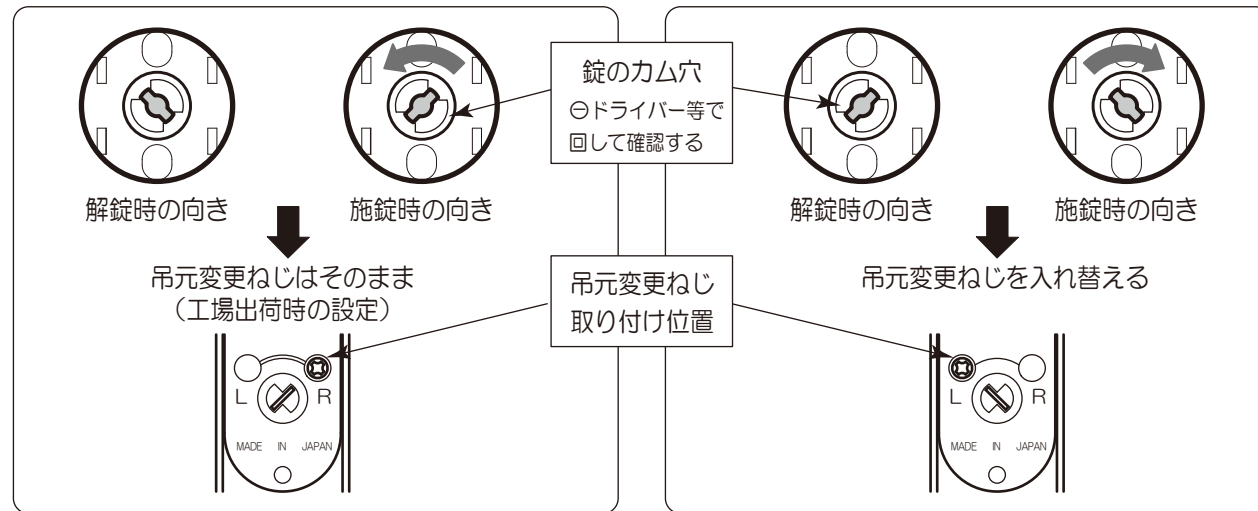


## 錠のカム穴の向きと吊元変更ねじの位置確認

キーレックス 500 SL10 仕様の吊元変更ねじの位置は、扉の開き勝手にかかわらず、錠のカム穴の位置で決まります。扉の切欠き穴から見える、錠のカム穴の位置を確認し、対応する吊元変更ねじの位置を確認してください。

⚠ 吊元変更ねじを逆の状態に取り付けた場合、解錠できなくなります。ご注意ください。



## 記憶番号設定に関するご注意

- KL500 は 1 ～ 12 桁まで任意の記憶番号を設定できます。
- ボタンを押す順番は自由です。順番は関係ありません。  
例) 記憶番号 1・2・3 の場合  
1・2・3 と押しても 2・3・1 3・1・2 1・3・2 と押しても解錠できます。
- 1 つのボタンにつき設定は 1 回だけです。（同じボタンを 2 度押しする設定はできません）  
例) 1・1・2・3 や 1・2・2・3 の設定はできません。

## 注意 危険防止の為に以下をお読みください

- 取付ねじのゆるみ ● 各部取付ねじのゆるみは、防犯及び落下防止の為に定期的に増し締めしてください。
- 受座の飛び出し ● 受座の飛び出しが大きい場合、体を傷つけたり、衣服を引っ掛けるおそれがありますので、取付業者に依頼して適正な受座に取り替えてください。
- 他の用途への使用 ● ロックターンにぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険です。
- ◆ 操作上の注意  
（故障の原因となります） ● 製品の分解、改造はしないでください。  
● テッドラッチ、テッドボルトを突出させた状態で扉を閉めないでください。  
● ボタンを押しながら、ロックターンの操作をしないでください。
- ◆ 永くご使用頂くために ● 錠ケースへの潤滑材使用はさけてください。  
● 表面の手入れは柔らかな布でから拭きしてください。  
汚れのひどい場合は、中性洗剤を使用してください。

ドアの吊り下がり、扉の開閉速度、丁番の具合など異常がありましたら専門の業者にご相談ください。

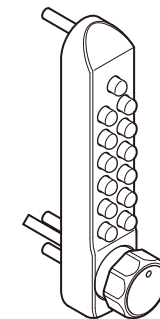
7274632

# KEYLEX<sup>®</sup> 500

KL500  
シブタニ SL10 錠  
シリンダー取替

## 取扱説明書（施主様向）

このたびは、当社製品のお買い上げ、ありがとうございます。本取扱説明書は、施主様、又はご入居者にお渡しください。  
この説明書は必ずお読みの上、保管してください。



22291

防犯上、定期的に記憶番号の変更をされますようおすすめ致します。

### 〈 記 憶 番 号 の 記 録 〉

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

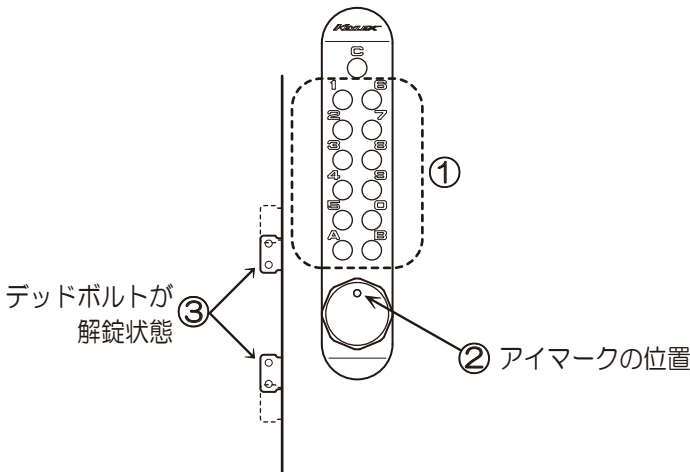
ただ今の記憶番号

基本操作

シリンダーでの鍵操作が、ボタン操作に変わります。

ご使用前に確認してください。

- ① 登録している記憶番号
- ② ロックターンのアイマークが  
図の位置（真上）にある
- ③ デッドボルトが解錠状態になっている

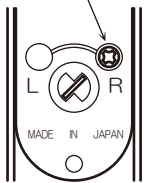


※ 図は扉が左勝手仕様です

室内側

室外側

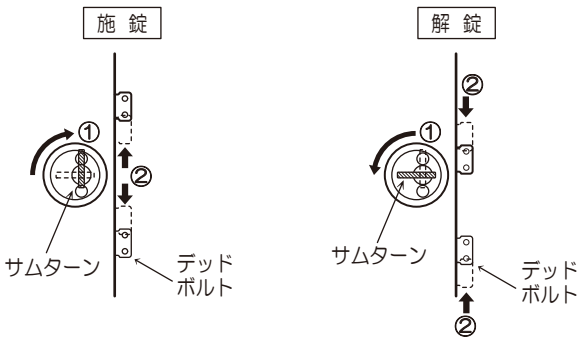
キーレックス本体裏側 吊元変更ねじ取付位置 R



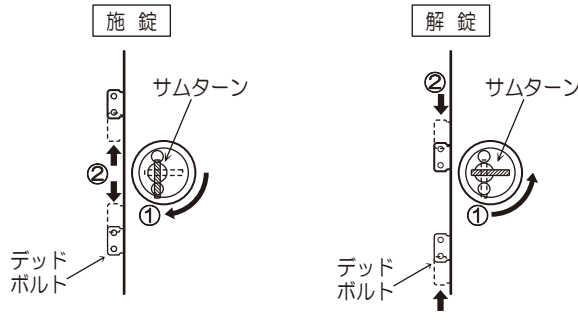
施錠：①サムターンを回し、②デッドボルトが上下に飛び出すことを確認します。  
解錠：①サムターンを回し、②デッドボルトが内側に収まることを確認します。

施錠：①ロックターンを回し、施錠されたことを確認します。  
解錠：①C ボタンを押し、②正しい記憶番号を押します。  
③ロックターンを回しきり、解錠されたことを確認します。  
⑤ロックターンのアイマークを図の位置に戻します。

扉が左勝手仕様



扉が右勝手仕様

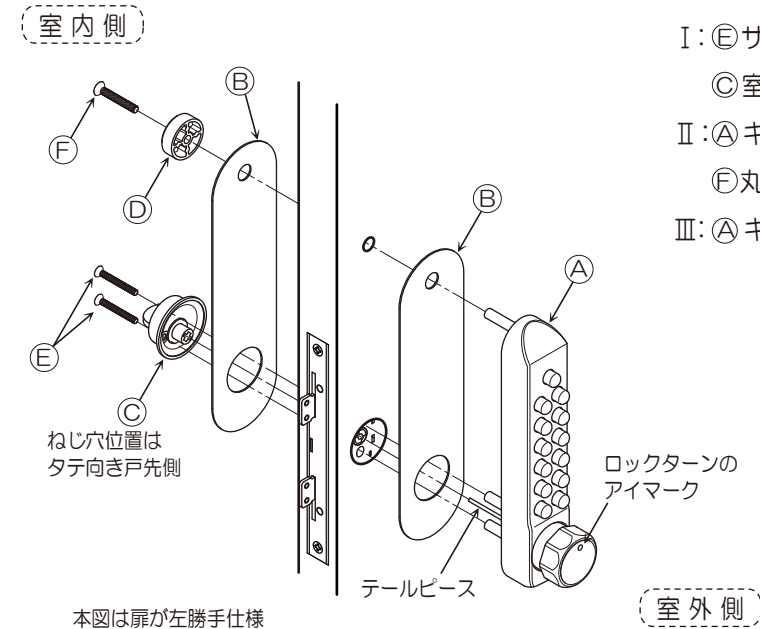


※本図は、キーレックス本体裏側 吊元変更ねじ取り付け位置が R 仕様です。吊元変更ねじ取付位置が L 時は対称です。

記憶番号の変更手順 扉は開けたままの状態でおこないます

7274632

【1】キーレックス本体を取り外します 取り外した部材は全て使います。紛失しないようにご注意ください。

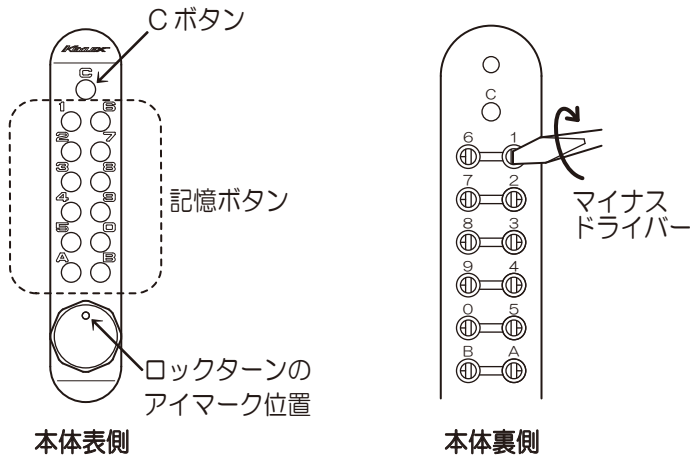


- I：⑥サムターン座固定ねじ 2 本をはずし、  
⑦室内サムターン座をはずします。
- II：⑧キーレックス本体と ⑨化粧プレートの落下に注意しながら、  
⑩丸座固定ねじをはずし、⑪室内丸座をはずします。
- III：⑫キーレックス本体と ⑬化粧プレートをはずします。

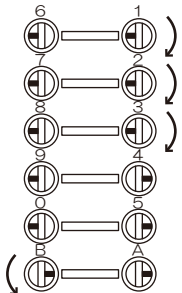
【2】記憶番号の設定変更をします

- ①ロックターンのアイマーク位置を下図の位置に固定します。  
本体裏側の **C ボタン** を押します。  
⑤まで、記憶ボタンは押さないでください。
- ②本体を裏側にし、記憶されているロックピンを回転させ（ロックピンの横溝を外側にする）すべてをクリアします。
- ③新規に記憶する番号を必ず記録します。  
本紙裏面に記入欄があります。
- ④新しい記憶番号のロックピン横溝を中央部の横溝にあわせませう。

※ C ボタンを押さないと、内部部品が破損する場合があります。必ず押してください。



例：B 1 2 3



⑤新しい記憶番号を押し、ロックターンが確実に作動することを確認します。

基本操作 室外側欄を参照します。

【3】本体を取り付けます 【1】と逆の順番で取り付けます。

左の基本操作に沿って、作動確認をして完了です。  
正しく作動しない場合は、記憶番号と吊元変更ねじの位置を確認してください。